

脳卒中センター認定 Q&A

Q1 PSC(一次脳卒中センター)でないと rt-PA 静注療法を行うことができないのでしょうか？

A:PSCの認定施設でなくとも、適応のある脳梗塞患者を診療するかぎり rt-PA 静注療法を適切に行う体制を整えて、PSC であるか否かを問わず rt-PA 静注療法を行う必要があります。

解説

脳卒中は全国どこでも、また昼夜を問わずいかなる時間帯にでも発症し得るcommon diseaseです。もとより24時間365日脳卒中診療に対応できるPSCを遠隔地や島嶼地域等を含めた全ての医療圏に配置することは不可能です。すでに日本脳卒中学会では、「rt-PA(アルテプラゼ)静注療法 適正治療指針 第二版」(2016年9月一部改訂)において、rt-PA静注療法施行施設の要件から「CTまたはMRI検査の24時間実施」、「日本脳卒中学会専門医などを中心とする診療チーム」、「SCUまたはそれに準ずる設備」等の文言を外し、施設基準を大幅に緩和するとともに、これまでrt-PA静注施行のために必須としてきた講習会もe-learningにするなど、すべての地域でrt-PA静注療法を行える様適正使用指針の変更を行っています(表)。PSCの認証の有無にかかわらず、脳卒中治療ガイドラインに従った脳卒中診療を継続してください。

今回の認証により、PSC がカバーできない地域の「見える化」が可能となります。これにより、脳卒中受療システムの最適化を図ることが可能となります。日本脳卒中学会では、PSC がカバーできない地域においても安全かつ有効な脳卒中診療を行うことができる様、「遠隔支援下一次脳卒中センター」(いわゆる telestroke)の認証を予定しています。脳卒中診療にあたる皆さんには、PSC であるか否かを問わず地域で発生する脳卒中患者に対し、ガイドラインに準拠した適切な脳卒中医療を提供できる体制となるよう、地域医療体制整備への協力をお願いします。

表 rt-PA静注を行う為の施設基準

以下の体制が整備されている施設で、アルテプラゼ静注療法を行う。

- 1) 頭部CT(またはMRI)検査、一般血液検査と凝固学的検査、心電図検査が可能であること。
- 2) 急性期脳卒中担当医師が、患者搬入後可及的速やかに診療を開始できること。
- 3) 脳神経外科的処置が必要な場合、迅速に脳外科医が対応できる体制があること。

Q2 TSC(血栓回収脳卒中センター)でないと、MT(機械的血栓回収療法)をおこなうことができないのでしょうか？

A MTはTSCのみならずPSC(一次脳卒中センター)でも実施可能です。PSCでも積極的にMTの出来る体制を構築してください。

解説

PSC(一次脳卒中センター)の要件として、「機械的血栓回収療法が実施できることが望ましい。実施できない場合には、血栓回収脳卒中センターや包括的脳卒中センターとの間で、機械的血栓回収療法の適応となる患者の緊急転送に関する手順書を有する。」となっています。PSCでも可能であれば、積極的に機械的血栓回収療法ができる体制を構築してください。なお、MTを行う医師は、「経皮経管的脳血栓回収機器適正使用指針第3版」(2018年3月、3学会合同)を遵守しなければなりません。

TSCではMTを24時間365日の体制で行わなければならない、近隣のPSCや一般病院の要請にも常に応えねばなりません。日本脳卒中学会は、持続的にそれを実践するための要件を定めました。

Q3 脳神経外科ないし脳神経内科病棟の病床を使用していますが、その場合「他疾患と明確に分離された脳卒中患者専用の病棟(病床)」には該当しないのでしょうか？

A 診療施設内に脳卒中専用の病室または病床(脳卒中患者を優先的に使用する病床)を決めてください。病床数は問いません。専らその病床を中心に病院内の脳卒中患者を診療する脳卒中チームを決めてください。脳卒中チームは、最低限、脳卒中の診療にあたる医師、看護師、リハビリテーションスタッフ(PT、OT、ST のいずれか)各 1 名以上を含むようにしてください。また rt-PA 静注療法手順書などの脳卒中ケア手順書を用意してください。最低限これらが満足されれば SU として認証します。

解説

脳卒中ユニットとは、「多職種からなる専属の脳卒中チームが配属され、他疾患と明確に分離された脳卒中患者専用の病棟(病床)病床」を言い、このように定義される SU で脳卒中治療を行えば、性、年齢、脳卒中の重症度、脳卒中の病型にかかわらず脳卒中転帰改善に有効であることが、メタ解析を含む研究で立証されています。

「多職種」とは、医師、看護師、リハスタッフ各々1名を最小単位とし、病院の規模により薬剤師、放射線技師、事務などが加わることとなります。「専属」とは、SU に入室した患者を診療するチームとして院内で明示されていることを最低限の条件とし、病院の規模によっては専従のスタッフを擁する施設もあると思われます。また「他疾患と明確に分離された」とは、最低限脳卒中患者を収容する病床を特定していることを条件としますが、病院の規模によっては専用のリハビリテーション室を併設したり、ICU 並みの重装備としている施設もあるかと思われます。今回の最低条件を満たす SU を作ることは、遠隔地の小規模施設であっても比較的容易であろうと思われます。

今回の認証基準は極めて緩やかなものですが、今回の脳卒中センターの認証により、我が国の脳卒中多職種医療が、どこでどの程度の規模で行われているかを「見える化」することができようになります。また各施設の患者の転帰をもとに PDCA サイクルが回る脳卒中医療システムの構築が期待されます。我が国の医療システムに最適な多職種医療の形態が明らかになれば、次期五か年計画に反映させて更なる改善を期待できるものと思われます。

Q4 SCUではなく全科共通のICUを使用していますが、その場合「他疾患と明確に分離された脳卒中患者専用の病棟(病床)」は該当しないのでしょうか？

A 診療報酬上の脳卒中ケアユニット(SCU)は脳卒中ユニット(SU)に含まれます。集中治療室(ICU)やハイケアユニット(HCU)も脳卒中患者用の病床が特定され、院内で特定された急性期脳卒中診療チームが対応すればSUに該当します。

解説

脳卒中ケアユニットは、2006年4月に診療報酬が認められたわが国独自の病棟です。脳卒中ケアユニット入院医療管理料に関する施設基準をみたさなければなりません。当然SUに該当します。集中治療室(ICU)やハイケアユニット(HCU)も脳卒中患者用の病床が特定され、院内で特定された急性期脳卒中診療チームが対応すればSUに該当します。

脳卒中ケアユニット入院医療管理料に関する施設基準

- 1)当該保険医療機関内に、神経内科又は脳神経外科の経験を5年以上有する専任の医師が常時1名以上いること*。
- 2)脳卒中ケアユニット入院医療管理を行うにふさわしい専用の治療室を有していること。
- 3)当該管理を行うために必要な次に掲げる装置及び器具を当該治療室内に常時備えていること。ただし、当該治療室が特定集中治療室と隣接しており、これらの装置及び器具を特定集中治療室と共有しても緊急の事態に十分対応できる場合においては、この限りではない。
 - ①救急蘇生装置(気管内挿管セット、人工呼吸装置等)
 - ②除細動器
 - ③心電計
 - ④呼吸循環監視装置
- 4)当該治療室勤務の看護師は、当該治療室に勤務している時間帯は、当該治療室以外での夜勤を併せて行わないものとする。
- 5)脳血管疾患等リハビリテーションの経験を有する専任の常勤理学療法士又は専任の常勤作業療法士が1名以上、当該治療室に勤務していること。なお、当該理学療法士又は当該作業療法士は、疾患別リハビリテーションを担当する専従者との兼務はできないものであること。
- 6)当該治療室の入院患者数の概ね8割以上が、脳梗塞、脳出血又はくも膜下出血の患者であること。
- 7)コンピューター断層撮影、磁気共鳴コンピューター断層撮影、脳血管造影等の必要な脳画像撮影及び診断が常時行える体制であること。
- 8)脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)、(Ⅱ)又は(Ⅲ)の届出を行っていること。

*2016年の診療報酬改定で一部緩和

Q5「脳卒中診療に従事する医師」とは脳神経外科医や脳神経内科医のことを指すのでしょうか？

A 「脳卒中診療に従事する医師」には、脳神経外科医や脳神経内科医のみならず、救急医、集中治療医、内科医、総合医、後期研修医などの急性期脳卒中診療担当医師も含まれます。

解説

二次救急の病院では、夜間や休日は内科医や外科医あるいは後期研修医が当直して急性期脳卒中の救急対応をしています。PSC(一次脳卒中センター)では多くの診療科の「脳卒中診療に従事する医師(専従でなくてもよい、前期研修医を除く)」が急性期脳卒中診療の担当医師になって、脳卒中急性期症例を受け入れ、「rt-PA 静注療法」が施行可能な体制を構築することが重要です。「脳卒中診療に従事する医師」には、救急医、集中治療医、内科医、総合医、後期研修医などの急性期脳卒中診療担当医師も含まれます。

Q6一次脳卒中センター(PSC)認定の申請、実績報告書ですが rt-PA のみ実施、機械的血栓回収療法(MT)のみ実施、両方(rt-PA+MT)実施している症例があります。記載欄はrt-PAとMTの2つになっていますが、どのように記載すればいいのでしょうか？

A rt-PA と機械的血栓回収療法(MT)の両者を同一症例に行った場合は、記載欄には rt-PA と MT の両者に記載して下さい。